

道づくりだより

第65号 2013.7 島根県道づくり調整会議

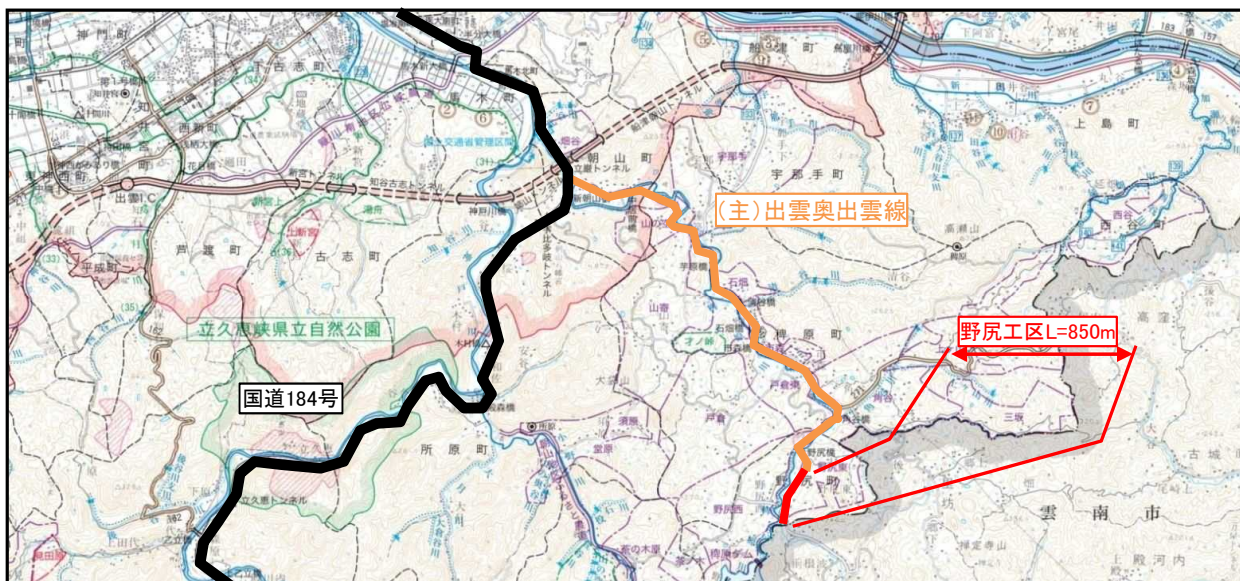


-Contents-

1. (主) 出雲奥出雲線 野尻工区が供用開始しました (道路建設課)
2. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ (道路維持課)
3. 祝 都市計画道路 城山北公園線1工区が暫定開通しました (都市計画課)
4. 広域基幹林道三隅線を紹介します！ (森林整備課)

(主)出雲奥出雲線 野尻工区が供用開始しました

主要地方道出雲奥出雲線野尻工区L=850mが供用開始しました。
 当該区間は、線形が悪く、幅員も狭いため、通行に支障をきたしていたことから、平成15年度に事業着手しました。
 公共事業の予算確保が厳しい中、完成までに長い年月を要しましたが、この度の完成により、道路の安全性や利便性が向上すると考えております。



- 【事業概要】**
- 工区延長 : 850m
 - 事業場所 : 出雲市野尻町地内
 - 事業期間 : 平成15年度～平成24年度
 - 道路規格 : 3種4級
 - 設計速度 : 50km/h
 - 道路幅員 : 車道5.50m+路肩左0.50m+路肩右0.75m+歩道2.50m

【完成写真】



起点側



終点側

「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ

◇毎年8月は、「道路ふれあい」月間です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

◇「道路ふれあい月間」推進標語とは

毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場、道の駅において応募用紙を配布しています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。今年度は、「道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。」をテーマに募集がありました。

◇平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです

○最優秀賞（3作品）

ゆずり合い せまい道も 広くなる

山梨県 樋口莉奈さん（小学生の部）

踏みしめて 未来へつづく 道がある

茨城県 大山藍さん（中学生の部）

おかえりと 道の向こうで 待つ笑顔

福井県 中川潔さん（一般の部）

◎最優秀賞3作品のうち「おかえりと 道の向こうで 待つ笑顔」を今年度の代表標語とします。

○優秀賞（6作品）

【小学生の部】

『「おはよう」の 声がいっぱい 朝の道』

大阪府 中谷麗夢さん

『のびのびと ゆめに向かって 歩こうよ』

秋田県 岩澤真夏斗さん

【中学生の部】

『この道を 歩けばいつも 笑顔あり』

神奈川県 加藤広菜さん

『新しい 人との出会い つなぐ道』

静岡県 近藤海太さん

【一般の部】

『「ありがとう」 道路が救う 命ある』

栃木県 星野典比古さん

『いつだって 道といっしょに ある暮らし』

神奈川県 内河裕信さん



都市計画道路城山北公園線 1 工区が暫定開通しました。

都市計画道路城山北公園線は、松江市街地の渋滞緩和、安心・安全な歩道の確保などを目的として平成16年1月から工事を行ってきましたが、このたびその一部区間（約300m）が暫定供用しました。7月7日に地元関係者約60名が参加され、開通式典及び米子橋の渡り初めを行い、地域の皆さんと一緒に開通を祝いました。

また、この区間に整備した米子橋の親柱橋名板の揮毫を地元小学生^{きごう}にお願いしたことから、揮毫された生徒さんを招き、感謝状の贈呈、橋名板披露を行いました。

【第1工区事業概要】

- 1) 延 長：L=620m
今回暫定供用区間 L=約300m（米子橋 L=15m）
- 2) 場 所：松江市殿町から南田町地内
- 3) 幅 員：29m（車道19m（4車線）+ 歩道5m×2）
- 4) 設計速度：40km/h
- 5) 事業期間：平成15～26年度予定
- 6) 全体事業費：約76億円



整備前 平成19年4月（米子町交差点）
幅員約11m



整備後 平成25年7月（米子町交差点）
幅員29m

【開通式典の様子】

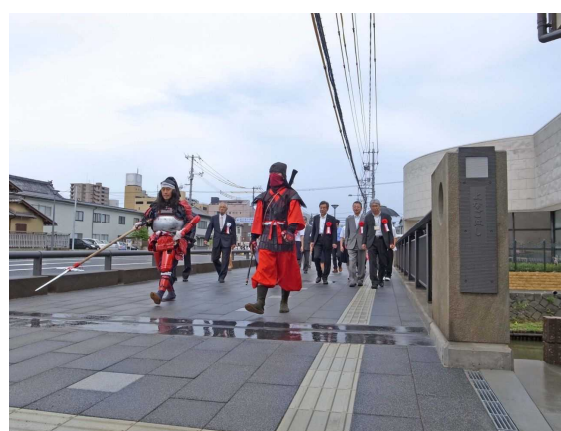
式典は、地元住民による記念式典実行委員会により開催され、開式の挨拶では、佐々木省二会長が、「今回の一部開通は中心市街地にふさわしいまちになるための起爆剤。渋滞緩和、安全・安心な歩道の確保など日常生活の利便性がはかられ、天守閣を眺めながら松江城へアプローチできるようになる。これからは、まちあるきを楽しめる城東地区を大いに売り出し、まちの活性化に取り組んでいきたい。」と今後の期待を述べられました。



記念式典実行委員会 佐々木省二会長の挨拶



米子橋渡り初めを祝うテープカット



雲州すいえん隊の先導で米子橋渡り初め

式典において、米子橋の橋名板の書体を揮毫^{きごう}した当時母衣小学校六年生だった松江市立第2中学校の生徒さん達に感謝状を贈呈し、その後揮毫者と保護者の方が一緒に綱を引き、完成した親柱・橋名板がお披露目となりました。



所長から感謝状を贈呈



橋名板のお披露目

引き続き早期の全線開通を目指します

全長約1kmの城山北公園線は、今回の一部開通により整備率が約30%となりました。用地契約状況は、1工区で96%、2工区で93%（平成25年3月末現在）となり、地権者の皆さまのご理解とご協力を頂きながら、引き続き早期の全線開通を目指します。



広域基幹林道三隅線を紹介します！

こんにちは！僕は島根県の水と緑の森づくりイメージキャラクターの“みーも”です。
隣は彼女の“みーなちゃん”だよ。
今回は森づくりに欠かせない道として整備している広域基幹林道「三隅線」を私たちが紹介します！



そもそも「広域基幹林道」ってどんな道なの？



「林道」は山の中に道を作って、切った木を市場へ出したり、木を植えたりするために使うんだ。種類もいろいろあって、山の一番奥には普通の車は入れないような砂利道の「森林作業道」、いくつかの森林作業道の間を結ぶ道が「林道」なんだよ。林道は道幅が3mから5mの1車線の道が一般的で県内でも一番良く見られるよ。入口には必ず「林道〇〇線」って黄色い看板が立っているんだ。そんな林道の中でも特に大きな道が「広域基幹林道」だよ。「広域」という言葉のとおり、その林道を利用する山の範囲は広く、たくさんの木をまとめて出すために大きな道が必要で、幅が7mある2車線の道なんだ。また、延長が長く地域と地域を結ぶこともあるため、山間地に暮らす方の生活が便利になるといった効果も期待されているんだ。



へ～。じゃあその特に大きな「広域基幹林道」って島根県ではどこにあるの？



島根県の山側を東西に結ぶように結構整備されていて、昔は「大規模林道」と呼ばれて作られていたんだ。東は奥出雲町から西の津和野町までが一連で結ばれるよう整備されているけど、浜田市と、益田市にまだ整備できていない区間が残っているんだ。「三隅線」は残っている区間の1つで、浜田市では「金城・弥栄線」という道も作っているよ。完成すれば浜田市の木がたくさん市場へ出せるようになるんだ。



ふ〜ん。大きな林道にはそれなりの目的があるのね。
では、今三隅線はどれくらいできていて、いつ通れる
ようになるの？



全長約9 kmのうち約5 kmはもう通れるんだ。工事中区間の4 kmの半分は山を掘ったりして道路の
形はできているよ。残りの掘削や舗装ができれば完成！あと3年後の平成28年度完成を目指してい
て、もうひと頑張りなんだよ！浜田の森のためにがんばらなくちゃ！



道路の形ができた三隅線



最後に私たちからミニ情報です♪

三隅線の沿線には有名な「大平桜」があります。
大平桜は国の天然記念物に指定され、推定樹齢約
660年、幹周囲が6.3m、高さ17m、枝の広が
り27mと立派な巨木で、見事に咲き誇った満開
の花は絶景です。毎年4月の上旬には大平桜まつ
りが催され、多くの観光客で賑わいます。機会が
あればぜひ立ち寄ってみて下さいね。



満開の大平桜